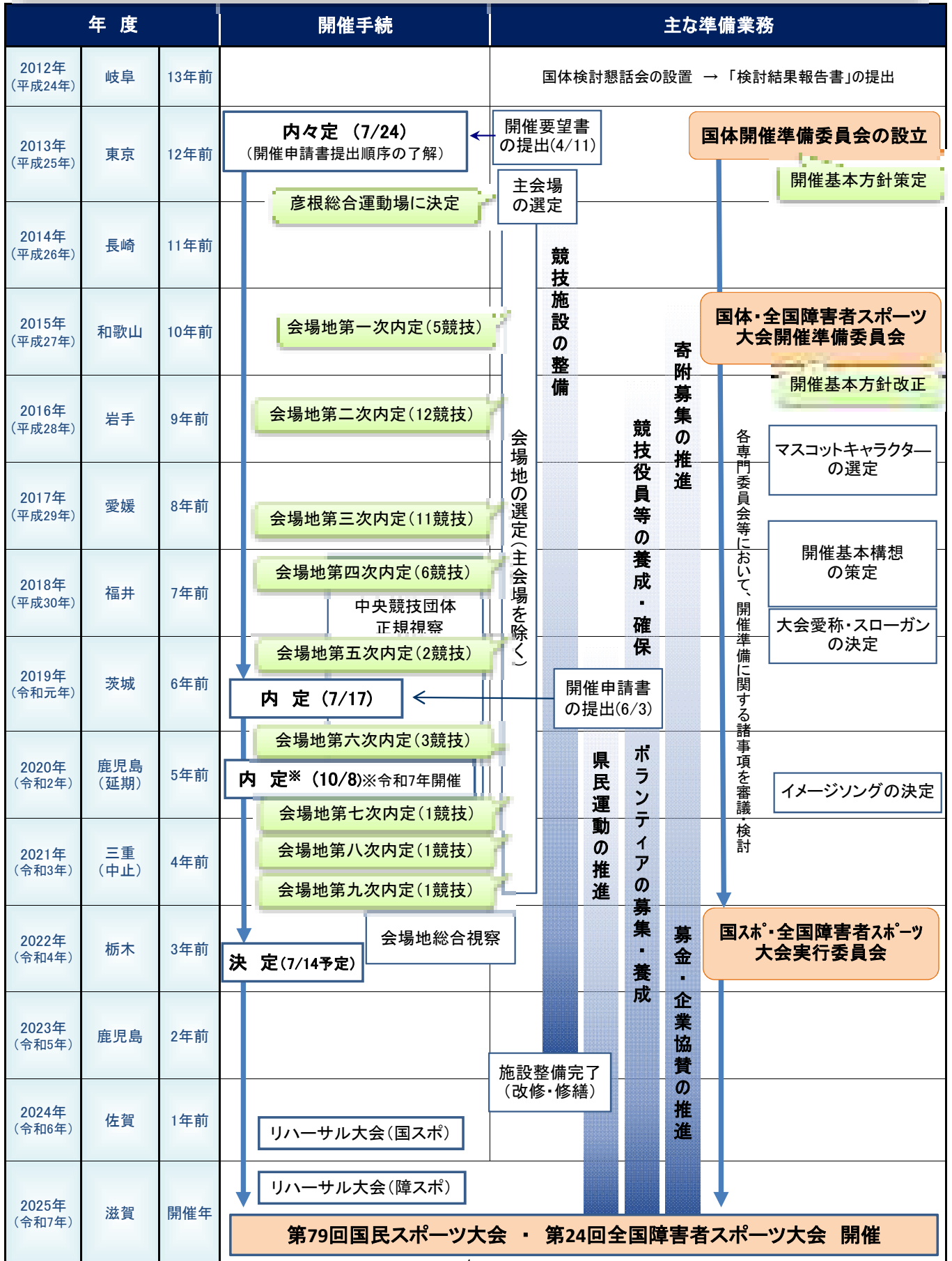


第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会の令和4年度の取組について

1 開催準備スケジュール（概要）



## 2 開催準備にかかる令和4年度の主な取組

### 開催準備委員会の運営

- ◆ 総会（1回）、常任委員会（2回）、専門・特別委員会（各1回～必要に応じて）の開催等

### 若い世代の意見を反映

- ◆ 小学生から大学生世代が委員の「子ども・若者参画特別委員会」において、開催準備やスポーツ振興等について調査・提言活動を実施する。

### 中央競技団体正規視察の実施

- ◆ 各会場地における正式競技・特別競技の開催準備に資するため、平成30年度から順次中央競技団体の会場地視察を受け、会場施設等の整備、競技運営等についての具体的な指導助言を得る。R4年度は4競技の実施を予定。

### 会場地総合視察の受け入れ

- ◆ 第79回国民スポーツ大会の開催決定にあたり、(公財)日本スポーツ協会および文部科学省(スポーツ庁)等が大会の会場地及び準備状況等を総合的に視察される。

### 広報・県民運動の展開

- ◆ 大会の愛称やスローガン、大会マスコットキャラクター、イメージソングを活用した各種広報活動の展開や、開催決定を記念したイベントの開催、花いっぱい運動の準備を行うなど大会広報と機運醸成を図る取組を進める。

### 競技会場地の選定

- ◆ 国スポ開催にあたり、競技基準を満たすための大規模な仮設が必要な競技等について、仮設方法やその費用の算定を行うことで、効率的な会場設営を行うための基礎資料を整える。

### 競技運営にかかる検討

- ◆ 引き続き、各競技団体が実施する役員養成事業に対する補助を行うとともに、開催に必要な競技用具の確保に向けた計画や競技運営にかかる役員編成等を検討する。

### 障スポ特有の準備

- ◆ 引き続き、競技役員養成を行うとともに、資格審査など競技運営に必要な準備について検討を始める。
- ◆ 引き続き、大会に必要な手話・要約筆記ボランティア、選手団サポートボランティアの確保に向けた事業を行う。

### 輸送・交通にかかる検討

- ◆ 両大会の開・閉会式輸送にかかる基本計画を作成する。

### 宿泊にかかる検討

- ◆ 宿泊施設の宿泊料金や施設の概要等を調査し、宿泊施設情報のデータベースを作成する。

### 式典・会場にかかる検討

- ◆ 両大会の開・閉会式などの式典内容や開・閉会式会場仮設施設整備について基本計画を作成する。

### 警備・消防にかかる検討

- ◆ 大会開催時の警備・消防について検討を行う。

### 募金・協賛の推進

- ◆ 「募金推進計画」に基づき、募金を推進する(街頭募金、イベント・大会とのタイアップ、募金グッズ販売、企業への寄附依頼等)とともに、企業協賛制度を構築し、協賛金・物品の提供について企業への依頼を行う。

### 事務局費

- ◆ 事務局員経費、職員旅費、事務用品購入費等

### 市町競技施設整備費補助

- ◆ 競技会場となる市町立施設の整備事業に要する経費に対して補助金を交付。

## 第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会開催基本構想の進捗状況

## 1 開催基本構想とは

両大会の開催準備および大会運営の取組や両大会終了後のレガシー創出の方向性を取りまとめた「開催基本構想」を令和元年5月に策定したもの。両大会の一年延期に伴い、開催年にかかる記載などについて、令和3年3月に一部改正。

## 2 開催基本構想の進行管理について

毎年度、開催基本構想の進行状況等について、把握し、検証する。

進捗状況の把握結果は、大会専用ホームページで公表し、進捗状況や課題等を広く情報共有するとともに、今後の開催準備や大会運営の検討に活用するものとする。

## 3 開催基本構想の進捗状況（概要）

令和3年度における主な取組の進捗状況は以下のとおり。

## (1) 『実施目標1 滋賀をスポーツで元気にする大会』に向けた取組

## &lt;主な取組&gt;

- ・県民が参加できるデモンストレーションスポーツ（第三次内定分）を選定した。

デモスポ (国スポ)	【第一次内定分】9競技 【第二次内定分】10競技 【第三次内定分】5競技 ひこねスーパーカロム（彦根市）、還暦軟式野球（守山市）、マリンスポーツフェスティバル（野洲市）、ネットでポンポイ（東近江市）、モルック（多賀町）
---------------	--

- ・イベントでスポーツ体験を実施し、スポーツ実践の機会を設けた。
- ・ボランティア活動の担い手となる大学生等の協力を得るため、大学等との意見交換を行った。
- ・寄附に対する感謝状贈呈式、紺綬褒状伝達式を実施し、ホームページに掲載するほか、報道機関への資料提供を実施した。
- ・競技会場となるスポーツ施設の整備を推進し、スポーツ活動や健康づくり活動を行う環境づくりを進めた。

【スポーツ体験の実施】



【企業からの寄附（感謝状贈呈式）】



### <今後の取組・課題>

- ・ホームページ、SNS やイベント等で会場地内定状況を周知するほか、大会広報誌等により、競技会場地や競技の魅力等の紹介を行う必要がある。
- ・ボランティアの募集に向けて、大学、県内企業等への依頼を行う必要がある。

## (2) 『実施目標2 滋賀の若者や女性が主体的に関わる大会』に向けた取組

### <主な取組>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により子ども・若者参画特別委員会における調査研究活動は実施できなかったが、第1期生～第6期生を対象に「滋賀らしいPRの方法」をテーマにアンケート調査を実施した。
- ・子ども・若者世代の関心を高めるため、大会広報誌は紙面に加えてスマートフォン（ウェブ）版を用意した。
- ・比較的女性の利用が多い施設等にポスター掲示を行い、両大会の啓発を行った。
- ・女性アスリート・指導者等を対象とした講演会を実施し、女性アスリートへの適切な指導法を考えるきっかけとした。また、女性アスリート特有の健康課題の解決に対応するため、医師の講義を収録した研修用DVDを作成し、強化拠点校や女性アスリートが所属するクラブチーム等に配付した。

【大会広報誌の発行】



【ショッピングモールでのポスター掲示】



### <今後の取組・課題>

- ・子ども・若者参画特別委員会の活動を継続する必要がある。
- ・子ども・若者、女性に向けた情報発信内容の検討や、令和4年度の開催決定イベントに向けて女性や親子での参加に配慮した企画を検討する必要がある。
- ・デモンストレーションスポーツの会場地市町と主管団体に対して参加者の幅を広げる工夫をしてもらえるよう依頼していく必要がある。

## (3) 『実施目標3 県民総参加でつくり、「滋賀の力」を伸ばす大会』に向けた取組

### <主な取組>

- ・県民が両大会開催を実感し、参加・協力できるよう、開催競技を県内の様々な地域で開催することとし、会場地を選定した（国スポ正式競技・特別競技・公開競技・デモスポ、障スポ正式競技・オープン競技）。
- ・マスコットキャラクター、愛称・スローガンやイメージソングを積極的に活用し、鉄道駅を利用した大型広告、地域情報誌への広告掲載、テレビ・ラジオCM、大会広報誌の発行等両大会の機運醸成に努めた。
- ・募金グッズ販売を開始した。
- ・式典の概要や基本的な考え方を明記した式典基本構想を策定した。
- ・警備・消防、医事・衛生、輸送・交通等について、必要な計画等を策定した。

【カレンダーイラストコンクール】



【募金グッズ販売】



### <今後の取組・課題>

- ・会場地が未決定の競技について引き続き調整を進める必要がある。
- ・式典、警備・消防、輸送・交通にかかる計画等の策定を行う必要がある。
- ・企業協賛制度を構築し、大会開催の一層の機運醸成を図る必要がある。
- ・両大会の認知度向上に向けて効果的な情報発信を行う必要がある。

### (4)『実施目標4 滋賀の魅力を再発見し、地域の活性化やビジネスにつなげる大会』に向けた取組

#### <主な取組>

- ・県内観光地等でのイベント啓発の様子や地元スポーツチームの試合日程、びわ湖レイクサイドマラソン2022オンライン参加者募集等をSNSで発信した。
- ・大会マスコットキャラクターを使用したピンバッジ、マスク、ポロシャツや巻き寿司が販売された。

#### <今後の取組・課題>

- ・来県者に提供する食事の参考とするために、滋賀県の食材を取り入れた標準献立の作成に向け、「標準献立作成方針」を策定する。
- ・大会文化プログラム実施要項を策定し、滋賀の文化、芸術等の魅力を発信する大会文化プログラムの展開を検討する。

#### (5) 『実施目標5 滋賀の子が、滋賀で育ち、滋賀で活躍する大会』に向けた取組

##### <主な取組>

- ・国スポ・障スポに係る競技役員養成事業については、継続して競技団体に対する補助を行った。
- ・滋賀国スポに向けた強化の最終ステージである「躍進期」に入り、新たに設置した「競技団体会長会議」の場で強化方針や各競技団体の重点強化種別や目標を共有するなど、ALL滋賀で目標達成に向かう体制整備を進めることができた。
- ・少年選手の強化対策として、国スポ開催年の少年種別選手への支援を充実させるため、「高校生トップアスリート支援事業」を創設し、21人の優秀な中学生の県内高校進学につなげた。
- ・成年選手ではスポーツ特別指導員6名、SHIGAアスリートナビ協力企業21名の採用により、成年種別の競技力の向上および少年選手を含む県内選手の育成・指導の活性化を図った。

##### <今後の取組・課題>

- ・競技役員等の養成計画を適宜見直ししながら、引き続き養成を進める必要がある。また、競技役員等のうち、資格を要しないその他運営員についても、養成を行う必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響が当面続くことを前提に、2025年に向けた選手強化を計画的・戦略的に取り組む必要がある。
- ・ターゲットエイジ強化選手の県内強化拠点校への進学促進に取り組むとともに、成年選手確保計画に基づく優秀なアスリートの確保による競技力向上および県内選手の育成・強化を進める。

#### (6) 『実施目標6 滋賀の未来に負担を残さない大会』に向けた取組

##### <主な取組>

- ・本県の現状や課題を整理し、式典の簡素・効率化に向けた検討を始めた。
- ・先催県の情報やノウハウを収集し、業務の効率化を図ったほか、競技用具の共同購入や先催県からの有償譲渡について検討を行った。
- ・既存施設の活用を基本とした上で、移転・改築等が必要な施設については施設整備を推進した。
- ・印刷物や広報グッズ作製に環境負荷が少ないものを使用するなど環境への配慮を行った。

##### <今後の取組・課題>

- ・引き続き先催県の情報やノウハウを収集し、準備活動の業務効率化を図るほか、競技用具の共同購入について、手続きを進める必要がある。
- ・式典の簡素・効率化について検討し、関係機関との調整を始める。



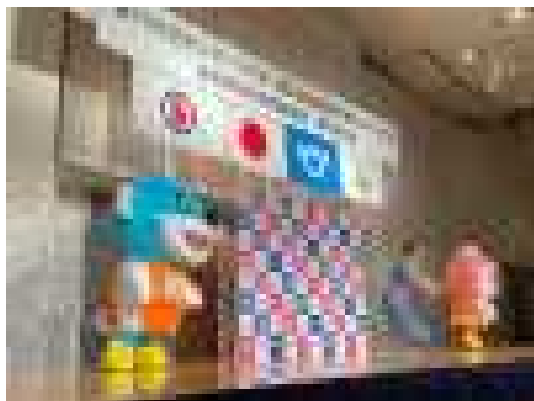
- ・引き続き施設整備を進めるとともに、寄附募集を推進する必要がある。
- ・大会運営時にも、廃棄物の発生抑制や分別を図るとともに、より一層環境に優しい製品の利用や地産地消に努める必要がある。

## (7)『実施目標7 すべての人がともに支え合う滋賀を目指す大会』に向けた取組

### <主な取組>

- ・手話でも歌いやすいイメージソングを制作し、障害のある人もない人も一緒に歌えるようにした。
- ・全国障害者スポーツ大会の出場を目指すチームや個人選手に対し、競技団体が行う普及・強化事業への支援を実施するとともに、2025年の同大会に多くの選手が出場し活躍できるための「選手・スタッフ構想」を取りまとめた。
- ・市町の行う競技会場施設のバリアフリー化のための整備事業に対して補助を行っている。
- ・障害者団体等の協力を得て、障スポの競技会場のバリアフリー調査を実施した。
- ・関係団体が参画する「手話・要約筆記ボランティア養成連絡会議」において養成にかかる検討を行うとともに、手話・要約筆記ボランティア養成の指導者研修を実施した。

【イメージソング】



【指導者研修(手話・要約筆記ボランティア)】



### <今後の取組・課題>

- ・関係行事等の工夫による国スポ・障スポの一体的な開催を検討する必要がある。
- ・市町競技施設整備費補助により市町立競技会場施設におけるバリアフリー化を促進する必要がある。また、宿泊施設調査において、バリアフリーの状況を確認し、対策を検討していく必要がある。
- ・障害のあるなしに関わらず楽しむことが可能なスポーツ体験会やデモスポを実施する必要がある。
- ・イメージソングの普及に一層取り組む必要がある。
- ・2025年の全国障害者スポーツ大会に向けて取りまとめた「選手・スタッフ構想」で想定しているスタッフの確保に取り組む。
- ・令和3年度設立された「特別支援学校体育連盟」が実施するスポーツ大会や各学校で取り組むスポーツ活動等に対して支援を行い、特別支援学校のスポーツ活動の充実を図る。

## 第79回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設名の変更について

番号	競技名(種目)	市町名	開催予定施設名	
			(変更前)	(変更後)
1	カヌー (スプリント)	東近江市	東近江市能登川水車とカヌーランド	伊庭内湖特設コース
2	高等学校野球 (硬式)	大津市	皇子山総合運動公園野球場	マイネットスタジアム皇子山 (皇子山総合運動公園野球場)

- 1 施設の敷地内にある内湖において、特設コースの設営により競技会を開催することに伴う変更  
(理由)
- 2 ネーミングライツの導入に伴う変更



## 第79回国民スポーツ大会 正式競技 会場地市町第十次内定(案)

番号	競技名(種目)	種別	市町名		開催予定施設
			所在地	準備運営	
1	馬術	成年男子 成年女子 少年	兵庫県三木市	滋賀県	三木ホースランドパーク

(注)開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果により、会場の追加変更等が生じる場合がある。

## 第79回国民スポーツ大会 正式競技 競技会場地の内定状況

○内定済み(第一次～第八次) …… 38競技(正式競技37、特別競技1)

○内定(第十次内定) …… 1競技(馬術)

○変更手続き …… 1競技(サッカー)

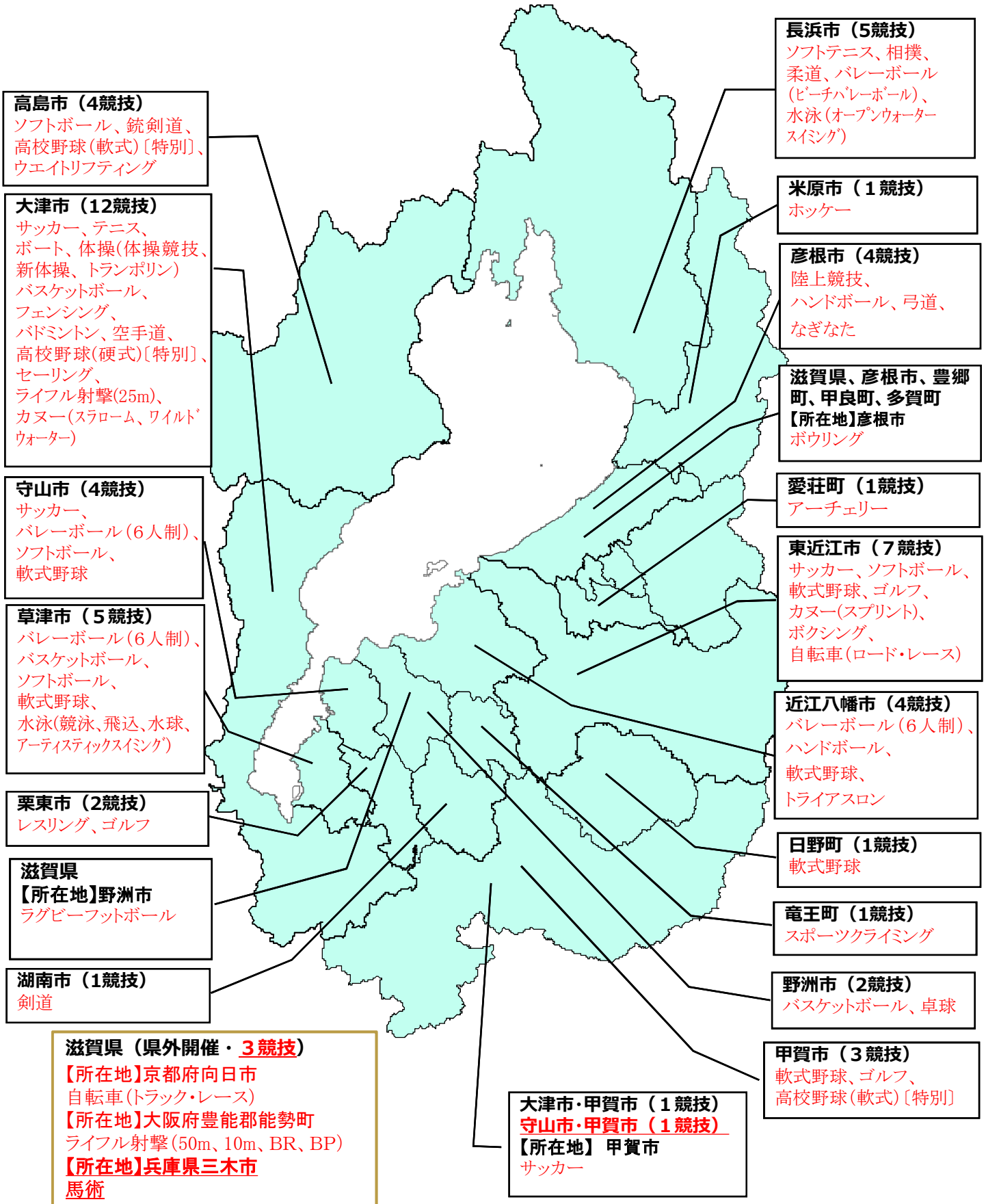
No	競技名		第79回国民スポーツ大会 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
1	陸上競技		H26.5.26	彦根市		(仮称)金亀公園陸上競技場	全種別
2	水泳	競泳	⑦R3.3.22	草津市		(仮称)草津市立プール	全種別
		飛込					全種別
		水球					少年男子 女子
		アーティスティックスイミング					少年女子
		オープンウォータースイミング	⑤R元.5.17	長浜市	長浜市南浜町地先特設会場	男子 女子	
3	サッカー		②H28.8.3 ⑦R3.3.22変更 ⑩R4.8.7変更予定	東近江市		東近江市総合運動公園布引陸上競技場 京セラ株式会社滋賀八日市工場総合グラウンド	成年男子
				大津市		皇子山総合運動公園陸上競技場 伊香立公園芝生グラウンド	少年女子
				甲賀市	大津市 甲賀市	甲賀市水ロスポーツの森陸上競技場	少年女子
					守山市 甲賀市		少年男子
守山市		野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)	少年男子				
4	テニス		②H28.8.3	大津市		大石緑地スポーツ村テニスコート	全種別
5	ボート		②H28.8.3	大津市		関西みらいローイングセンター(滋賀県立琵琶湖漕艇場)	全種別
6	ホッケー		③H29.7.31	米原市		OSPホッケースタジアム(滋賀県立伊吹運動場) 米原市伊吹第1グラウンド	全種別
7	ボクシング		④H30.5.21	東近江市		東近江市能登川アリーナ	成年男子 少年男子 成年女子
8	バレー ボール	6人制	②H28.8.3	草津市		草津市立総合体育館 YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	成年男子 成年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館	少年男子
				守山市		守山市民体育館	少年女子
		ビーチバレーボール	⑤R元.5.17 ⑧R3.8.3変更	長浜市		豊公園自由広場特設会場	少年男子 少年女子

No	競技名		第79回国民スポーツ大会 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
9	体操	競技	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
		新体操	②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	成年女子 少年男子
		トランポリン	⑥R2.7.1	大津市		滋賀アリーナ	男子 女子
10	バスケットボール		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	成年男子 少年男子
				野洲市		野洲市総合体育館	成年女子
				草津市		YMITアリーナ(くさつシティアリーナ)	少年女子
11	レスリング		②H28.8.3	栗東市		栗東市民体育館	成年男子 少年男子 女子
12	セーリング		④H30.5.21	大津市		大津市柳が崎特設セーリング会場	全種別
13	ウエイトリフティング		④H30.5.21	高島市		滋賀県立安曇川高等学校体育館	成年男子 少年男子 女子
14	ハンドボール		③H29.7.31 ④R元.5.17変更	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター 彦総グリーンアリーナ(彦根総合高等学校体育館)	成年男子 成年女子 少年女子
				近江八幡市		近江八幡市立運動公園体育館 あづちマリエート	少年男子 少年女子
15	自転車	トラック・レース	⑧R3.8.3	京都府 向日市	滋賀県	向日町競輪場	成年男子 少年男子 女子
		ロード・レース	⑧R3.8.3	東近江市		東近江市特設ロードレースコース	成年男子 少年男子 女子
16	ソフトテニス		①H27.8.31	長浜市		長浜市民庭球場	全種別
17	卓球		②H28.8.3	野洲市		野洲市総合体育館	全種別
18	軟式野球		③H29.7.31	近江八幡市		近江八幡市立運動公園野球場	成年男子
				草津市		草津グリーンスタジアム	
				守山市		守山市民球場	
				甲賀市		甲賀市民スタジアム	
				東近江市		東近江市ひばり公園湖東スタジアム	
				日野町		大谷公園野球場	
19	相撲		①H27.8.31	長浜市		長浜バイオ大学ドーム(滋賀県立長浜ドーム)	成年男子 少年男子
20	馬術	⑩R4.8.7予定	兵庫県 三木市	滋賀県	三木ホースランドパーク		成年男子 成年女子 少年
21	柔道		②H28.8.3	長浜市		長浜伊香ツインアリーナ	成年男子 少年男子 女子
22	ソフトボール		②H28.8.3 ⑥R2.7.1変更	東近江市		東近江市総合運動公園布引多目的グラウンド	成年男子
				高島市		高島市今津総合運動公園第1グラウンド・第2グラウンド	成年女子
				草津市		草津市立野村運動公園グラウンド	少年男子
				守山市		守山市民運動公園ソフトボール場 守山市民球場	少年女子

No	競技名		第79回国民スポーツ大会 会場地				
			内定時期	市町名		施設名	種別
				所在地	準備運営		
23	フェンシング		③H29.7.31	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
24	バドミントン		②H28.8.3	大津市		滋賀アリーナ	全種別
25	弓道		③H29.7.31	彦根市		彦根市スポーツ・文化交流センター	全種別
26	ライフル 射撃	25m	④H30.5.21	大津市		滋賀県警察学校射撃場	成年男子
		50m	⑨R4.4.19	大阪府 豊能郡能勢町	滋賀県	能勢ライフル射撃場	成年男子 成年女子
		10m					全種別
		BR、BP					少年男子 少年女子
27	剣道		①H27.8.31	湖南市		湖南市総合体育館	全種別
28	スポーツ クライミング	リード	③H29.7.31	竜王町		竜王町総合運動公園	全種別
		ボルダリング					
29	ラグビー フット ボール	7人制	⑥R2.7.1	野洲市	滋賀県	滋賀県希望が丘文化公園	成年男子 女子
		15人制					少年男子
30	カヌー	スプリント	③H29.7.31	東近江市		伊庭内湖特設コース	全種別
		スラローム ワイルドウォーター	④H30.5.21	大津市		瀬田川特設カヌー会場	成年男子 成年女子
31	アーチェリー		①H27.8.31	愛荘町		愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	全種別
32	空手道		②H28.8.3	大津市		ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)	全種別
33	銃剣道		③H29.7.31	高島市		新旭体育館	成年男子 少年男子
34	なぎなた		③H29.7.31	彦根市		パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール	成年女子 少年女子
35	ボウリング		⑥R2.7.1	彦根市	滋賀県 彦根市 豊郷町 甲良町 多賀町	ラピュタボウル彦根	全種別
36	ゴルフ		③H29.7.31	栗東市		琵琶湖カントリー倶楽部	成年男子
				甲賀市		ベアズパウ ジャパン カントリークラブ	少年男子
				東近江市		名神八日市カントリー倶楽部	女子
37	トライアスロン		④H30.5.21	近江八幡市		近江八幡市特設トライアスロン会場	成年男子 成年女子
38	高等 学校 野球	硬式	①H27.8.31	大津市		マイネットスタジアム皇子山(皇子山総合運動公園野球場)	—
		軟式	③H29.7.31	甲賀市		甲賀市民スタジアム	—
				高島市		高島市今津運動公園今津スタジアム	

注) 1 開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、中央競技団体視察の結果等により、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

# 第79回国民スポーツ大会正式競技 会場地内定配置図



## 第79回国民スポーツ大会 正式競技 開催予定施設変更（案）

## 【サッカー競技】

番号	変更前				変更後			
	市町名		種別	競技会場名	市町名		種別	競技会場名(予定)
	所在地	準備運営			所在地	準備運営		
1	守山市		少年男子	野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)	守山市	守山市	少年男子	野洲川歴史公園サッカー場(ビッグレイク)
					甲賀市	守山市 甲賀市		水口スポーツの森陸上競技場

(理由) 中央競技団体正規視察の指摘事項に対応するため、少年男子の競技会場を追加するもの。

## 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準の改正について

### <改正の要旨>

競技団体が定める競技規則等の改正を反映するもの。

### <対象競技>

- ・ 陸上
- ・ 水泳
- ・ ホッケー
- ・ ソフトテニス
- ・ ソフトボール
- ・ ラグビーフットボール
- ・ カヌー



(現行)

令和4年(2022年)1月19日  
第16回総務企画専門委員会決定

# 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

(改正案)

(案)

# 第79回国民スポーツ大会 競技施設基準



第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

滋賀県開催準備委員会

(現行)  
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。  
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。  
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。  
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。  
※令和 3年（2021年）6月 7日より適用する。  
※令和 4年（2022年）1月19日より適用する。

《競技施設基準の見方》

- 「基準」および「摘要」欄  
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄  
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄  
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄  
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

(改正案)  
第79回国民スポーツ大会競技施設基準について

第79回国民スポーツ大会の開催準備を計画的かつ円滑に推進するために定めたものである。

- 1 この競技施設基準は、国民体育大会開催基準要項細則第2項に規定する施設基準および各競技の競技規則等ならびに先催県の例等に基づき、競技場の規模を中心に定めたものである。
- 2 大会運営上および管理上必要な施設・面積等については、省略してあるものがあり、さらに関連する施設・面積等の確保が必要になる場合がある。
- 3 この競技施設基準に定めるもののほか、細部については、それぞれ各競技の競技規則等によるものとする。
- 4 この競技施設基準は、県および開催市町等において、各中央競技団体等と調整を行い、弾力的な運用ができるものとする。
- 5 この競技施設基準の内容については、国民体育大会開催基準要項および各競技の競技規則等の改正に伴い、変更する場合がある。

※平成26年（2014年）2月14日より適用する。  
※平成30年（2018年）4月16日より適用する。  
※平成31年（2019年）4月24日より適用する。  
※令和 3年（2021年）1月20日より適用する。  
※令和 3年（2021年）6月 7日より適用する。  
※令和 4年（2022年）1月19日より適用する。  
~~※令和 4年（2022年）7月 4日より適用する。~~

《競技施設基準の見方》

- 「基準」および「摘要」欄  
国民体育大会開催基準要項細則に定められている事項。
- 「基準の主な内容」欄  
競技場に関して各競技の競技規則等に定められているもので主な事項。
- 「配慮すべき事項」欄  
各競技の競技規則等には定めはないが、運営上、競技会の安全な開催および先催県の例等から検討が必要と考えられる事項。
- 「先催県の事例」欄  
先催県における競技施設基準の弾力的な運用事例。

		(現行)	
目	次		
		(ページ)	
1	陸上競技	1	1
2	水泳	2	2
3	サッカー	5	5
4	テニス	6	6
5	ボート	7	7
6	ホッケー	8	8
7	ボクシング	9	9
8	バレーボール	10	10
9	体操	12	12
10	バスケットボール	13	13
11	レスリング	14	14
12	セーリング	15	15
13	ウエイトリフティング	16	16
14	ハンドボール	17	17
15	自転車	18	18
16	ソフトテニス	19	19
17	卓球	20	20
18	軟式野球	21	21
19	相撲	22	22
20	馬術	23	23
21	フェンシング	24	24
22	柔道	25	25
23	ソフトボール	26	26
24	バドミントン	27	27
25	弓道	28	28
26	ライフル射撃	29	29
27	剣道	31	31
28	ラグビーフットボール	32	32
29	スポーツクライミング	33	33
30	カヌー	35	35
31	アーチェリー	37	37
32	空手道	38	38
33	銃剣道	39	39
34	なぎなた	40	40
35	ボウリング	41	41
36	ゴルフ	42	42
37	トライアスロン	43	43
38	高等学校野球	44	44

		(改正案)	
目	次		
		(ページ)	
1	陸上競技	1	1
2	水泳	2	2
3	サッカー	5	5
4	テニス	6	6
5	ボート	7	7
6	ホッケー	8	8
7	ボクシング	9	9
8	バレーボール	10	10
9	体操	12	12
10	バスケットボール	13	13
11	レスリング	14	14
12	セーリング	15	15
13	ウエイトリフティング	16	16
14	ハンドボール	17	17
15	自転車	18	18
16	ソフトテニス	19	19
17	卓球	20	20
18	軟式野球	21	21
19	相撲	22	22
20	馬術	23	23
21	フェンシング	24	24
22	柔道	25	25
23	ソフトボール	26	26
24	バドミントン	27	27
25	弓道	28	28
26	ライフル射撃	29	29
27	剣道	31	31
28	ラグビーフットボール	32	32
29	スポーツクライミング	33	33
30	カヌー	35	35
31	アーチェリー	37	37
32	空手道	38	38
33	銃剣道	39	39
34	なぎなた	40	40
35	ボウリング	41	41
36	ゴルフ	42	42
37	トライアスロン	43	43
38	高等学校野球	44	44

競技名	陸上競技	(現行)	競技番号	1
基準	日本陸上競技連盟公認の1種競技場 1	摘要	1周400mのサブトラック 1 投てき練習場 1	

基準の主な内容

【第1種公認陸上競技場】

**1. 新設(多目的)の場合**

- |              |   |
|--------------|---|
| ①1周の距離       | 400m  |
| ②競走路         | 8レーンまたは9レーンとし、1レーンの幅は1m220とする。<br>走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。 |
| ③距離の公差       | +1/10,000以内   |
| ④3,000m障害物   | 水壕は、レーンの内側または外側に設置する。   |
| ⑤跳躍場及び各種投てき場 | 仕様に示す数や全天候舗装の厚さとする。<br>ハンマー投と円盤投のサークルは兼用でもよい。                                 |
| ⑥高齢者、身障者席    | 車椅子席を設置する。  |
| ⑦用器具庫        | 2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上とする。   |
| ⑧夜間照明設備      | 1m220の高さで平均照度1,000ルクス程度とする。<br>また、フィッシュラインは1,500ルクス以上を確保する。                   |
| ⑨電光掲示板       | 設置することが望ましい。国民体育大会の会場では、仮設でもよい。   |
| ⑩監視カメラ       | 大規模競技会では、12箇所必要とする。   |
| ⑪観客の収容数      | 15,000人以上(芝生を含む)とする。<br>メインスタンドは、少なくとも7,000人程度で屋根付きとする。                       |
| ⑫雨天走路        | メインスタンドまたはバックスタンド側に必要とする。   |
| ⑬補助競技場       | 第3種公認陸上競技場とする。  |
| ⑭投てき練習場      | 1周400mの全天候舗装で6レーン以上とし、直走路は8レーンとする。<br>大規模競技会では主競技場の至近に設置する。                   |

**2. 既設の場合**

- |              |   |
|--------------|---|
| ①1周の距離       | 400m  |
| ②競走路         | 8レーンまたは9レーンとする。<br>走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。        |
| ③距離の公差       | +1/10,000以内   |
| ④3,000m障害物   | 水壕は、レーンの内側または外側に設置する。   |
| ⑤跳躍場及び各種投てき場 | 仕様に示す数や全天候舗装の厚さとする。<br>ハンマー投と円盤投のサークルは兼用でもよい。                         |
| ⑥高齢者、身障者席    | 車椅子席を設置する。  |
| ⑦用器具庫        | 2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上とする。   |
| ⑧夜間照明設備      | 設備を必要とし、1m220の高さで平均照度が1,000ルクス程度とする。<br>また、フィッシュラインは、1,500ルクス以上を確保する。 |
| ⑨電光掲示板       | 設置することが望ましい。国民体育大会の会場では、仮設でもよい。                                       |
| ⑩監視カメラ       | 大規模競技会では、12箇所必要とする。   |
| ⑪観客の収容数      | 15,000人以上(芝生を含む)とする。<br>メインスタンドは、少なくとも7,000人程度で屋根付きとする。               |
| ⑫雨天走路        | メインスタンド又はバックスタンド側に必要とする。  |
| ⑬補助競技場       | 第3種公認陸上競技場とする。  |
| ⑭投てき練習場      | 1周400mの全天候舗装で6レーン以上とし、直走路は8レーンとする。<br>大規模競技会では主競技場の至近に設置する。           |

((公財)日本陸上競技連盟「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」から抜粋)

(配慮すべき事項)

- 投てき練習場の広さは7,000㎡(100m×70m)を目途とする。

(先催県の事例)

競技名	陸上競技	(改正案)	競技番号	1
基準	日本陸上競技連盟公認の1種競技場 1	摘要	1周400mのサブトラック 1 投てき練習場 1	

基準の主な内容

【第1種公認陸上競技場】

- |              |   |
|--------------|---|
| ①1周の距離       | 400m  |
| ②競走路         | 8レーンまたは9レーンとし、1レーンの幅は1m220とする。<br>走路の厚さは13mm以上とする。直走路のスタートライン付近の厚さは18mm以上とする。 |
| ③距離の公差       | +1/10,000以内   |
| ④3,000m障害物   | 水壕は、レーンの内側または外側に設置する。   |
| ⑤跳躍場及び各種投てき場 | 仕様に示す数や全天候舗装の厚さとする。<br>ハンマー投と円盤投のサークルは兼用でもよい。                                 |
| ⑥高齢者、身障者席    | 車椅子席を設置する。  |
| ⑦用器具庫        | 2カ所以上とし、合計面積は500㎡以上とする。   |
| ⑧夜間照明設備      | 設備を必要とし、1m220の高さで平均照度1,000ルクス程度とする。<br>また、フィッシュラインは1,500ルクス以上を確保する。           |
| ⑨電光掲示板       | 設置することが望ましい。国民体育大会の会場では、仮設でもよい。   |
| ⑩監視カメラ       | 大規模競技会では、12箇所必要とする。   |
| ⑪観客の収容数      | 15,000人以上(芝生を含む)とする。<br>メインスタンドは、少なくとも7,000人以上で屋根付きとする。                       |
| ⑫雨天走路        | メインスタンドまたはバックスタンド側に必要とする。   |
| ⑬補助競技場       | 第3種公認陸上競技場とする。  |
| ⑭投てき練習場      | 1周400mの全天候舗装で6レーン以上とし、直走路は8レーンとする。<br>大規模競技会では主競技場の至近に設置する。                   |

((公財)日本陸上競技連盟「第1種・第2種公認陸上競技場の基本仕様」から抜粋)

(配慮すべき事項)

- 投てき練習場の広さは7,000㎡(100m×70m)を目途とする。

(先催県の事例)

競技名	水泳競技(その1)	(現行)	競技番号	2
基準	日本水泳連盟公認のプール 1 競泳用50mプール 1 (隣接して25m補助プール 1) 2 飛込、アーティスティックスイミング用プール 1(飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。) 3 水球用プール 1 オープンウォータースイミング競技においては、規定のコース(5km)	摘要	左記1、2、3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい	

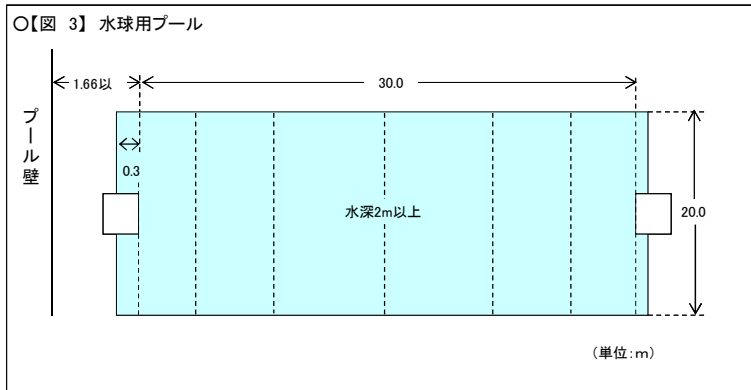
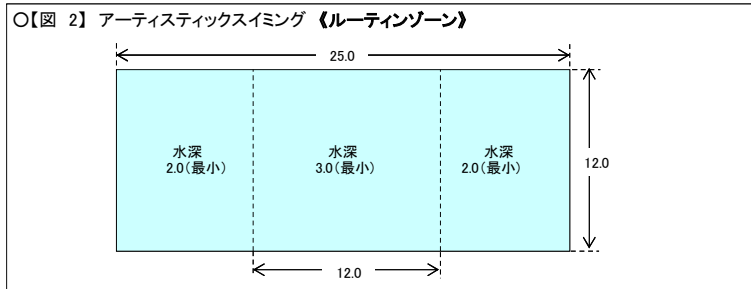
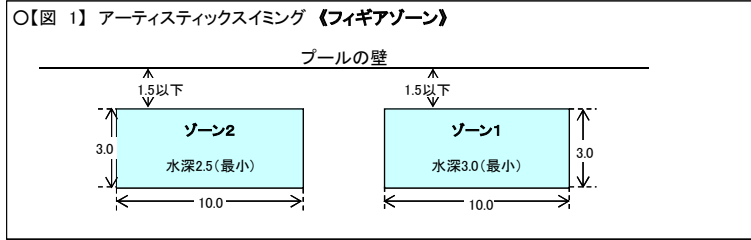
基準の主な内容				
競泳プールは次のとおりとする				
1 競泳用プール【公称50m国内基準競泳プール・国内一般プールAA】				
①長さ	50.02m(タッチ板を両端壁に設置する場合)			
②幅	25.0m以上			
③水深	2.0m以上が望ましい			
④コース数・コース幅	コース幅は1コース2.50mで、10レーン以上が望ましい			
⑤プール両端の余裕	0.20m以上で休息だなの幅以上			
⑥自動審判計時装置	A級またはAA級を常設しなければならない。			
⑦練習施設	事情の許す限り50mプールを併設することとし、設置できないときは25mプールでも可とする。ただし、競技者が容易に利用できる練習施設が近隣にある場合は、これにかえることができる。			
2 飛込用プール【国内基準飛び込みプール】				
①飛板	1m及び3m 各2基			
②飛込台	5m、7.5m、10m 各1基			
③水深	10m飛込台の基線上の水深4.50m			
④プールの方向	屋外プールの場合にあつては、飛板及び飛込台は北向きに設置されることが望ましい。			
⑤波立て装置	競技者の水面確認を容易にするために、飛込施設の下に水面攪拌装置を設置しなければならない。			
⑥練習施設	1m飛板…競技用とは別に2基 飛込練習台…飛込台と異なる側に助走及び踏切の練習用として、最低1基			
3 アーティスティックスイミング用プール【国内基準アーティスティックスイミング競技プール】				
(1)フィギュアゾーン				
①競技区域	10.0m×3.0mの長方形の区域を2カ所設けなければならない。			
②水深	ゾーンのうち、一方は水深3.0m以上、他方は水深2.5m以上でなければならない。			
③設置要領等	※【図1】に示す。			
(2)ルーティンゾーン				
①競技区域	最低12.0m×25.0mの長方形区域を1カ所設ける。 (一辺12.0mの正方形区域含)			
②水深	2.0m以上。ただし、一辺12.0mの正方形の区域の水深は3.0m以上とする。			
③設置要領等	※【図2】に示す。 フィギュアゾーンは、ルーティンゾーン内に設けることができる。			
(3)その他				
○プールの水は水底まではっきり見えるよう透明でなければならない				
4 水球用プール【国内基準公認水球プール】				
①競技使用水面(男子水球)	長辺(ゴールライン間)30.0m 短辺20.0m			
②水深	2.00m以上とする			
③バウンダリーライン	バウンダリーラインは、ゴールラインの後方(外側)0.30mの位置に設置するものとする。			
④ゴールライン	各ゴールラインとプール壁との距離は、1.66m以上とする			
⑤設置要領	※【図3】に示す。 〔(公財)日本水泳連盟プール公認規則から抜粋 2010.4.1施行〕			

競技名	水泳競技(その1)	(改正案)	競技番号	2
基準	日本水泳連盟公認のプール 1 競泳用50mプール 1 (隣接して25m補助プール 1) 2 飛込、アーティスティックスイミング用プール 1(飛込用として10mの固定台と3mの飛板を備えていること。) 3 水球用プール 1 オープンウォータースイミング競技においては、規定のコース(5km)	摘要	左記1、2、3は、至近距離にある異なった会場であることが望ましい	

基準の主な内容				
競泳プールは次のとおりとする				
1 競泳用プール【公称50m国内基準競泳プール・国内一般プールAA】				
①長さ	50.02m(タッチ板を両端壁に設置する場合)			
②幅	25.0m以上			
③水深	2.0m以上が望ましい			
④コース数・コース幅	コース幅は1コース2.50mで、10レーン以上が望ましい			
⑤プール両端の余裕	0.20m以上で休息だなの幅以上			
⑥自動審判計時装置	A級またはAA級を常設しなければならない。			
⑦練習施設	事情の許す限り50mプールを併設することとし、設置できないときは25mプールでも可とする。ただし、競技者が容易に利用できる練習施設が近隣にある場合は、これにかえることができる。			
2 飛込用プール【国内基準飛び込みプール】				
①飛板	1m及び3m 各2基			
②飛込台	5m、7.5m、10m 各1基			
③水深	10m飛込台の基線上の水深4.50m			
④プールの方向	屋外プールの場合にあつては、飛板及び飛込台は北向きに設置されることが望ましい。			
⑤波立て装置	競技者の水面確認を容易にするために、飛込施設の下に水面攪拌装置を設置しなければならない。			
⑥練習施設	1m飛板…競技用とは別に2基 飛込練習台…飛込台と異なる側に助走及び踏切の練習用として、最低1基			
3 アーティスティックスイミング用プール【国内基準アーティスティックスイミング競技プール】				
(1)フィギュアゾーン				
①競技区域	10.0m×3.0mの長方形の区域を2カ所設けなければならない。			
②水深	ゾーンのうち、一方は水深3.0m以上、他方は水深2.5m以上でなければならない。			
③設置要領等	※【図1】に示す。			
(2)ルーティンゾーン				
①競技区域	最低12.0m×25.0mの長方形区域を1カ所設ける。 (一辺12.0mの正方形区域含)			
②水深	2.0m以上。ただし、一辺12.0mの正方形の区域の水深は3.0m以上とする。			
③設置要領等	※【図2】に示す。 フィギュアゾーンは、ルーティンゾーン内に設けることができる。			
(3)その他				
○プールの水は水底まではっきり見えるよう透明でなければならない				
4 水球用プール【国内基準公認水球プール】				
①競技使用水面(男子水球)	長辺(ゴールライン間)30.0m 短辺20.0m			
②水深	2.00m以上とする			
③バウンダリーライン	バウンダリーラインは、ゴールラインの後方(外側)0.30mの位置に設置するものとする。			
④ゴールライン	各ゴールラインとプール壁との距離は、1.66m以上とする			
⑤設置要領	※【図3】に示す。 〔(公財)日本水泳連盟プール公認規則から抜粋 2010.4.1施行〕			

基準の主な内容

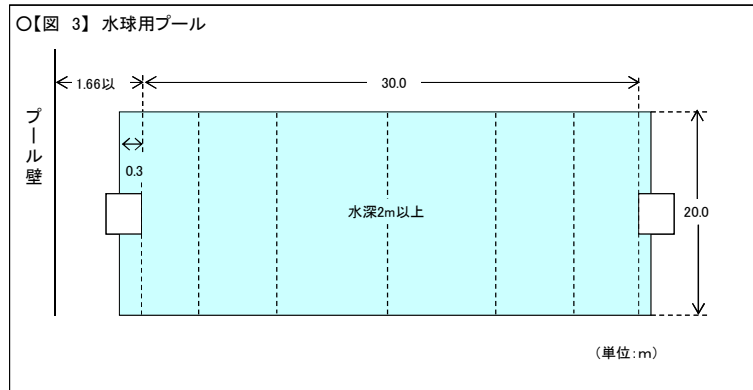
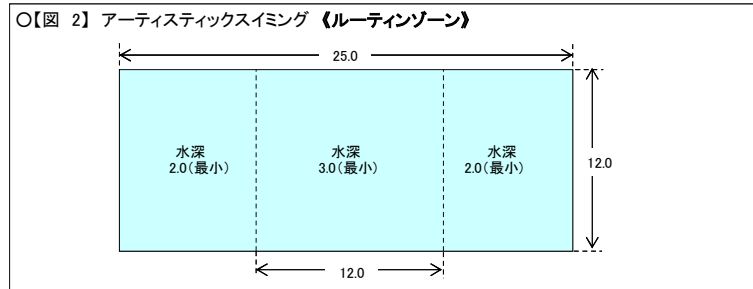
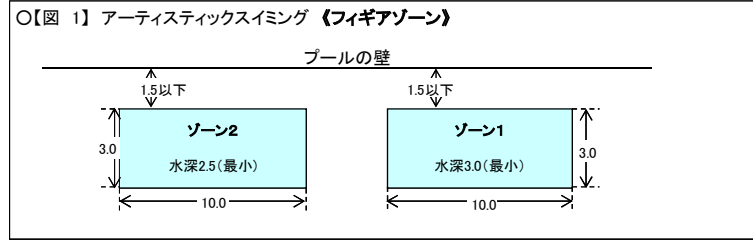
※第6章補則 第126条③  
 旧規則のもとで公認または認定を受けたプールについては、当分の間、当該プールの公認または認定を受けたものとみなし、再公認または再認定を与えるものとする。



〔(公財)日本水泳連盟プール公認規則(2010.4.1施行)および「公認プール施設要領(2014.4.1施行)」から抜粋〕

基準の主な内容

※第6章補則 第126条③  
 旧規則のもとで公認または認定を受けたプールについては、当分の間、当該プールの公認または認定を受けたものとみなし、再公認または再認定を与えるものとする。



〔(公財)日本水泳連盟プール公認規則(2010.4.1施行)および「公認プール施設要領(2014.4.1施行)」から抜粋〕

競技名	水泳競技(その3)	(現行)	競技番号	2
基準の主な内容				
<p>5 オープンウォータースイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催地は安全性を考慮し、流れがゆるやかで、海水、淡水もしくは汽水の水域とする。</li> <li>・コース上すべての地点は水深が1.4m以上でなければならない。</li> <li>・コースの折返しは、ターンブイ等ですべて明確に表示されなければならない。ターンブイはガイドブイ(補助ブイ)と別の色にしなければならない。</li> <li>・ターン・ジャッジ艇等は、競技者の折返しの視野を妨害しないように、すべての折返し点に配置される。</li> <li>・給水用棧橋、ターンブイ、ターン・ジャッジ艇等は固定され、潮の干満、風もしくはその他の動きに影響されないものとする。</li> <li>・フィニッシュへの最終アプローチは目立つ色のマークやガイドロープで表示され、コースとの境界線を作らなければならない。</li> <li>・フィニッシュは垂直面ではっきりと明示し、表示する。</li> </ul> <p>〔(公財)日本水泳連盟「オープンウォーター競技規則」から抜粋〕</p>				
<p>(配慮すべき事項)</p> <p>○ビデオ判定装置の設置が望ましい(<del>オープンウォータースイミングを除く</del>)。</p>				
<p>(先催県の事例)</p>				

競技名	水泳競技(その3)	(改正案)	競技番号	2
基準の主な内容				
<p>5 オープンウォータースイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催地は安全性を考慮し、流れがゆるやかで、海水、淡水もしくは汽水の水域とする。</li> <li>・コース上すべての地点は水深が1.4m以上でなければならない。</li> <li>・コースの折返しは、ターンブイ等ですべて明確に表示されなければならない。ターンブイはガイドブイ(補助ブイ)と別の色にしなければならない。</li> <li>・ターン・ジャッジ艇等は、競技者の折返しの視野を妨害しないように、すべての折返し点に配置される。</li> <li>・給水用棧橋、ターンブイ、ターン・ジャッジ艇等は固定され、潮の干満、風もしくはその他の動きに影響されないものとする。</li> <li>・フィニッシュへの最終アプローチは目立つ色のマークやガイドロープで表示され、コースとの境界線を作らなければならない。</li> <li>・フィニッシュは垂直面ではっきりと明示し、表示する。</li> </ul> <p>〔(公財)日本水泳連盟「オープンウォーター競技規則」から抜粋〕</p>				
<p>(配慮すべき事項)</p> <p>○ビデオ判定装置の設置が望ましい。</p>				
<p>(先催県の事例)</p>				

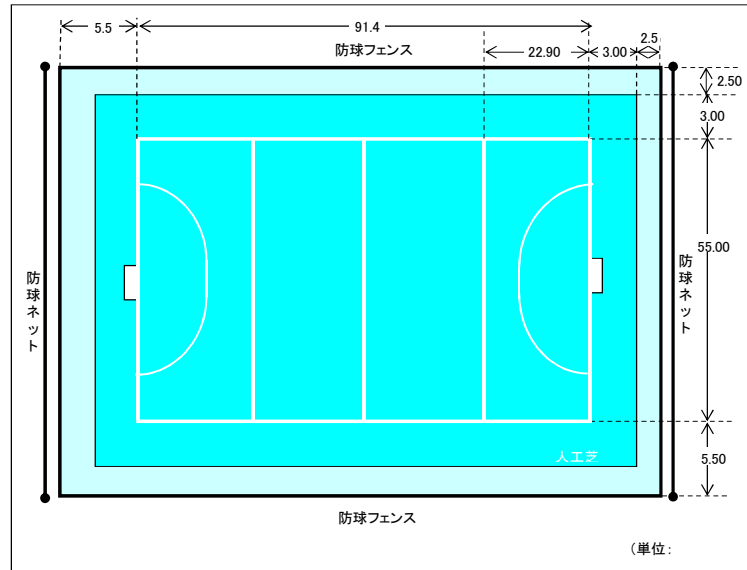


競技名	ホッケー	(現行)	競技番号	6
-----	------	------	------	---

基準	規定の競技場2面	摘要	
----	----------	----	--

基準の主な内容

競技場は次のとおりとする。



〔(公社)日本ホッケー協会国民体育大会ホッケー競技場施設基準から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 競技場は、人工芝2面とする。(うち1面はJHA公認人工芝であること)
- 防球フェンスは、高さ30cm×長さ111.4mと高さ30cm×長さ65mのものを1対。
- 防球ネットは、高さ5m×長さ40mのものを1対。ただし、ゴール後方に目隠しのために高さ3m×20mの防砂ネットを付ける。

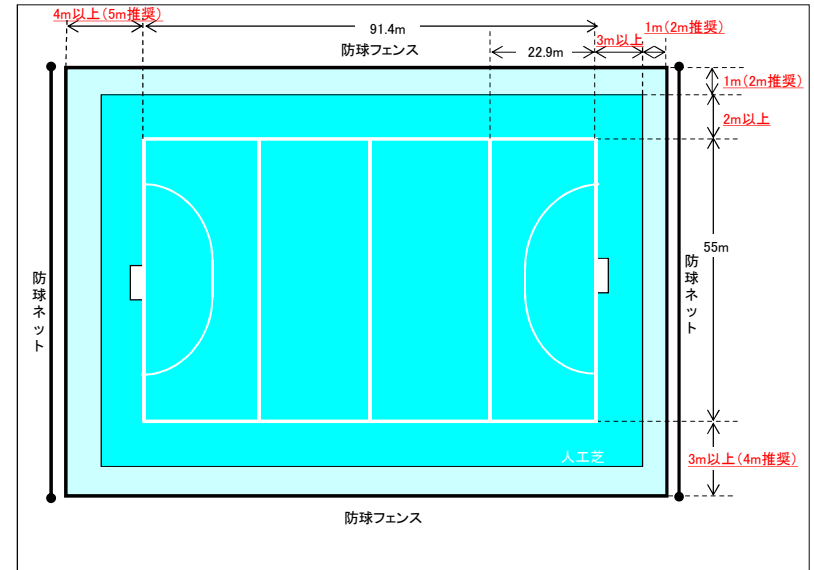
(先催県の事例)

競技名	ホッケー	(改正案)	競技番号	6
-----	------	-------	------	---

基準	規定の競技場2面	摘要	
----	----------	----	--

基準の主な内容

競技場は次のとおりとする。



〔(公社)日本ホッケー協会国民体育大会ホッケー競技場施設基準から抜粋〕

(配慮すべき事項)

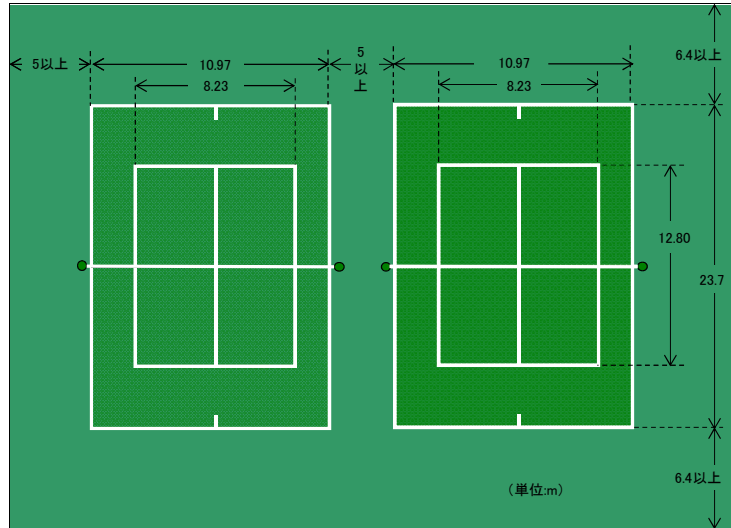
- 競技場のフィールドは、人工芝競技場2面(うちJHAナショナル規格クラスⅠ以上の公認フィールド1面)とする。もう1面は、JHAマルチススポーツ規格クラスⅡ同等以上のフィールドを推奨する。
- 防球フェンス(サイドネット)は、高さ1m以上とする。
- 防球ネット(バックネット)は、バックネット裏を人が通る場合は、人が通過するバックラインの範囲を7m以上の高さとし、人が立ち入らない場合は、サークルの内側にあっては4.5m以上、サークルの外側にあっては3m以上とする。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(現行)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



- アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に6.4m以上、サイドラインから外側に5m以上であることを原則とする。
- コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。
- コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、人工クレー、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは木板、人工クレー、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。
- テニスコートにおける照度は、コート面から1mの高さで原則500ルクス以上とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

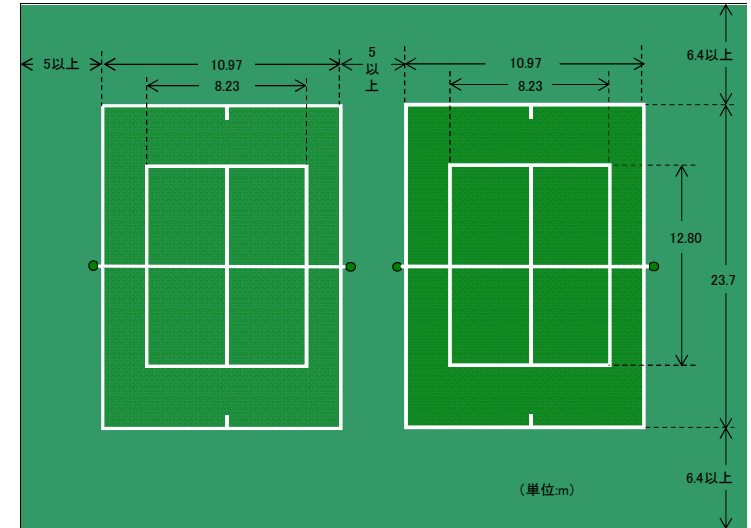
- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

(先催県の事例)

競技名	ソフトテニス	(改正案)	競技番号	16
基準	規定のコート16面	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コートは、次のとおりとする。



- アウトコートはコートの周囲のスペースで、ベースラインから後方に6.4m以上、サイドラインから外側に5m以上であることを原則とする。**ただし、国際大会および日本連盟主催大会の全国大会等を開催するコートは、ベンチの設置や線審の配置等を考慮し、ベースラインから後方に8m以上、サイドラインから外側に6m以上であることが望ましい。**
- コートが2面以上ならば場合、隣接するコートにおいて接するサイドラインの間隔は5m以上であることを原則とする。
- コート及びアウトコートのサーフェイスは、アウトドアではクレー、人工クレー、砂入り人工芝又は全天候型等とし、インドアでは木板、人工クレー、砂入り人工芝、硬質ラバー又は全天候型等とする。
- テニスコートにおける照度は、コート面から1mの高さで原則500ルクス以上とする。

〔(公財)日本ソフトテニス連盟「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 2会場地に分かれる場合は、競技運営上、1会場地で8面以上確保できる。
- ナイター照明があることが望ましい。

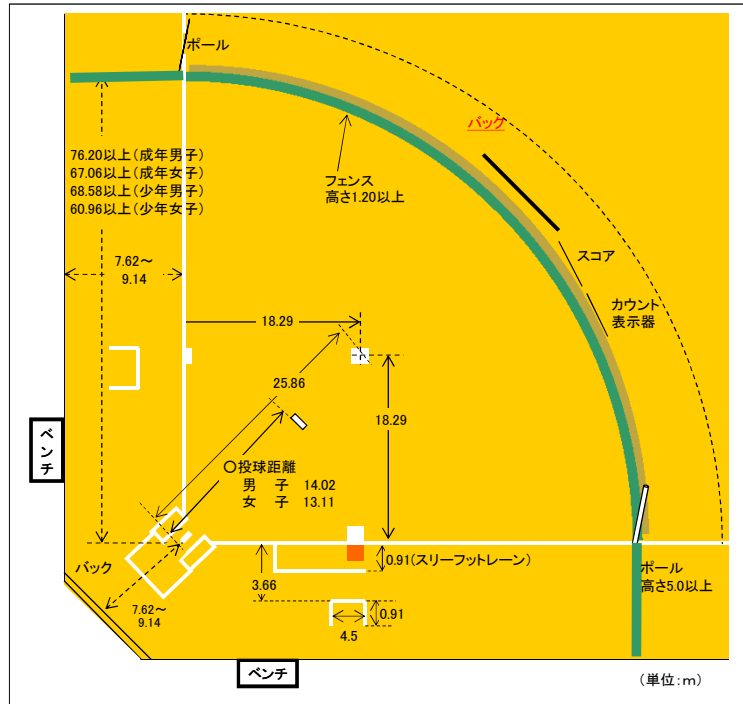
(先催県の事例)

競技名	ソフトボール	(現行)	競技番号	23
-----	--------	------	------	----

基準	規定の競技場8面	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。
----	----------	----	-----------------

基準の主な内容

競技場は次のとおりとする。



- 競技場は平坦で、障害物のない地域であり、その上方空間を含む。
- フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、少年男子68.58m以上、少年女子60.96m以上の半径の円弧に囲まれた地域である。
- ファウル地域は、両ファウルラインの外側、および本塁とバックネットの間の地域である。

〔(公財)日本ソフトボール協会「オフィシャル・ソフトボール・ルール」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- ナイター照明があることが望ましい。
- 国際規格変更(2002年)に伴い、本塁から外野フェンスまでの距離が、成年男子76.20m以上、成年女子67.06m以上が望ましい。
- 競技運営上、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子を単位として、最大4会場地とする。
- 競技運営上、各種別ごとに試合用2面が同一施設内に確保できる。

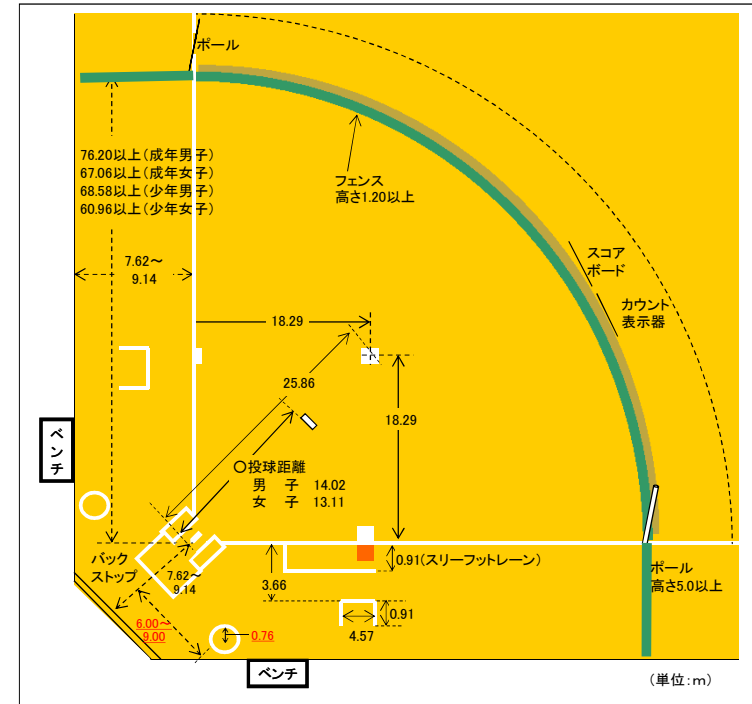
(先催県的事例)

競技名	ソフトボール	(改正案)	競技番号	23
-----	--------	-------	------	----

基準	規定の競技場8面	摘要	2会場地以上に分かれてもよい。
----	----------	----	-----------------

基準の主な内容

競技場は次のとおりとする。



- 競技場は平坦で、障害物のない地域であり、その上方空間を含む。
- フェア地域は、両ファウルラインと、本塁(ホームプレート)から、少年男子68.58m以上、少年女子60.96m以上の半径の円弧に囲まれた地域である。
- ファウル地域は、両ファウルラインの外側、および本塁とバックネットの間の地域である。

〔(公財)日本ソフトボール協会「オフィシャル・ソフトボール・ルール」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

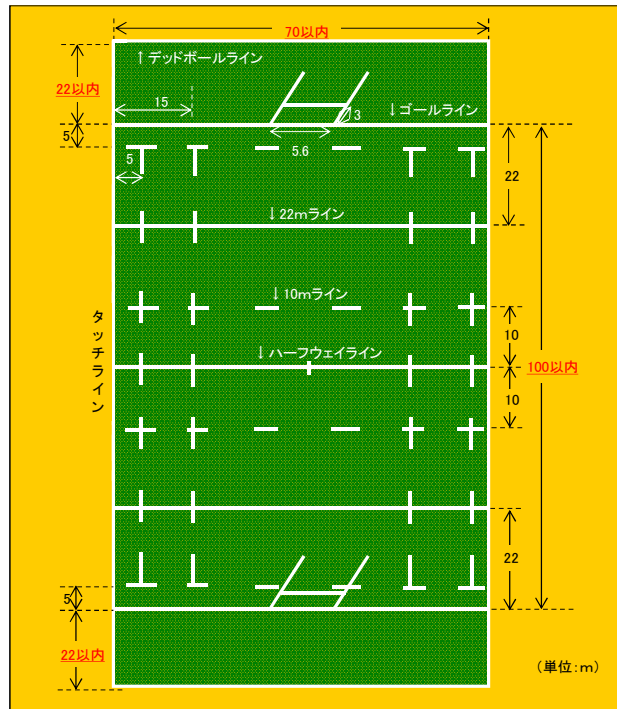
- ナイター照明があることが望ましい。
- 国際規格変更(2002年)に伴い、本塁から外野フェンスまでの距離が、成年男子76.20m以上、成年女子67.06m以上が望ましい。
- 競技運営上、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子を単位として、最大4会場地とする。
- 競技運営上、各種別ごとに試合用2面が同一施設内に確保できる。

(先催県的事例)

競技名	ラグビーフットボール	(現行)	競技番号	28
基準	規定の競技場3面 (うち芝生の競技場2面)	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- フィールドオブプレーは、長さ100mを越えず、幅70mを越えない。
- 両インゴールとも、長さ22m、幅70mを越えない。
- ゴールラインとデッドボールラインとの距離は、実際に可能であれば少なくとも10m以上とする。

〔(公財)日本ラグビーフットボール協会「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

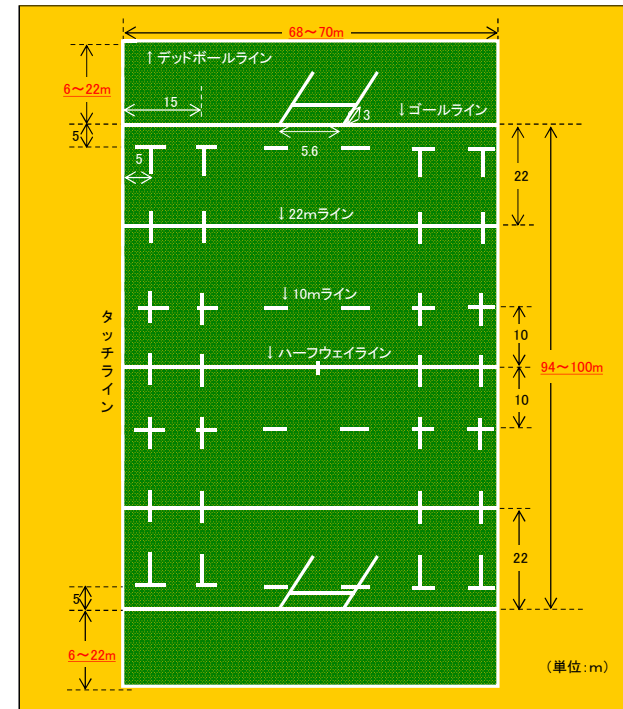
- 2会場地に分かれる場合は、成年男子と少年男子を単位とする。その際、少年男子は規定の競技場2面が確保できる。
- コートから障害物までの距離は、10m以上が望ましい。
- すべての競技場は芝生とし、ゴールポストが設置可能とする。

(先催県の事例)

競技名	ラグビーフットボール	(改正案)	競技番号	28
基準	規定の競技場3面 (うち芝生の競技場2面)	摘要	2会場地に分かれてもよい。	

基準の主な内容

競技場は、次のとおりとする。



- フィールドオブプレーは、長さ94~100m、幅68~70mとする。
- 両インゴールとも、長さ6~22m、幅68~70mとする。
- ゴールラインとデッドボールラインとの距離は、実際に可能であれば少なくとも10m以上とする。

〔(公財)日本ラグビーフットボール協会「競技規則」から抜粋〕

(配慮すべき事項)

- 2会場地に分かれる場合は、成年男子および女子と少年男子を単位とする。その際、少年男子は規定の競技場2面が確保できることが望ましい。
- コートから障害物までの距離は、5m以上が望ましい。
- すべての競技場は芝生とし、ゴールポストが設置可能とする。

(先催県の事例)

競技名	カヌー (その1)	(現行)	競技番号	30
基準	<p>1 カヌースプリント (公社)日本カヌー連盟が適当と認める幅101m以上を有する500m以上のコース 1 艇庫 1(艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい)</p> <p>2 カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター (公社)日本カヌー連盟が適当と認める河川 1 艇庫 1(艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい)</p>	摘要	2会場地上以上に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コースは次のとおりとする。

(1)カヌースプリント

- 水路は、静水で長さ500m、レーン巾9m、9レーンとし、深さ1.5m以上で連盟が公認したもの。
- 水路は、25mごとに浮標によって標示する。
- レーンは、直線でなければならない。
- 水深は、コース全域にわたり1.5m以上あることを原則とする。
- レーンの幅は、9mとする。レーン外境及び各レーン境界は浮標で標示せねばならない。
- レーン外境と岸、その他の構築物との間には10m以上の自由水域をとらなければならない。
- 決勝線の後方には、長さ50m以上の自由水域をとらねばならない。
- 発艇線と決勝線は、コースと直角とする。
- 200mの発艇は、自動発艇装置とする。
- 500mもできるかぎりこれに準ずる。

(2)カヌースラローム

- 水路は、全般にわたり漕航可能な激流とし、日本カヌー連盟が公認したもの。
- コースの距離は150m以上400m以内で、自然または人工的な障害物でつくるものとする。
- ゲートは25及び15ゲートとし、内6～7ゲートはアップストリームゲートとする。
- 水量は3t/秒以上、流速は2m/秒以上とする。
- 発艇線および決勝線は電子判定システムとする。

(3)カヌーワイルドウォーター

- 水路全般にわたり漕航可能な激流とし、日本カヌー連盟が公認したもの。
- コース全長1.500mを原則とし、コースは全長を通じて常に河底に接触しないで通過できるものでなければならない。また、いくつかの自然及び人工の障害物があり、部分的に数カ所以上の瀬があること。
- 水量は3t/秒以上、流速は2m/秒以上とする。
- 発艇線および決勝線は電子判定システムとする。

〔(公社)日本カヌー連盟「カヌー競技規則」「国民体育大会特別規則」から抜粋〕

競技名	カヌー (その1)	(改正案)	競技番号	30
基準	<p>1 カヌースプリント (公社)日本カヌー連盟が適当と認める幅101m以上を有する500m以上のコース 1 艇庫 1(艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい)</p> <p>2 カヌースラローム、カヌーワイルドウォーター (公社)日本カヌー連盟が適当と認める河川 1 艇庫 1(艇及び器材を収容できるもの。常設が望ましいが仮設でもよい)</p>	摘要	2会場地上以上に分かれてもよい。	

基準の主な内容

コースは次のとおりとする。

(1)カヌースプリント

- 水路は、静水で長さ500m、レーン巾9m、9レーンとし、深さ1.5m以上で連盟が公認したもの。
- 水路は、25mごとに浮標によって標示する。
- レーンは、直線でなければならない。
- 水深は、コース全域にわたり1.5m以上あることを原則とする。
- レーンの幅は、9mとする。レーン外境及び各レーン境界は浮標で標示せねばならない。
- レーン外境と岸、その他の構築物との間には10m以上の自由水域をとらなければならない。
- 決勝線の後方には、長さ50m以上の自由水域をとらねばならない。
- 発艇線と決勝線は、コースと直角とする。
- 200mの発艇は、自動発艇装置とする。
- 500mもできるかぎりこれに準ずる。

(2)カヌースラローム

- カヌースラロームコースは150m以上400m以内で全般にわたり漕行可能な急流とし、公益社団法人日本カヌー連盟の公認したもの。
- ゲート数は25ゲート及び15ゲートとする。その中で6ゲートまたは8ゲートが漕ぎ上がり(アップストリーム)ゲートであること。
- カヌースラロームの発艇・決勝に公益社団法人日本カヌー連盟が公認した電子判定システム(光電管・ビデオシステム等)を設置すること。
- 全使用艇・用具を収納する艇庫を設置する。
- 水路及び施設は、国体終了後も使用できるものが望ましい。

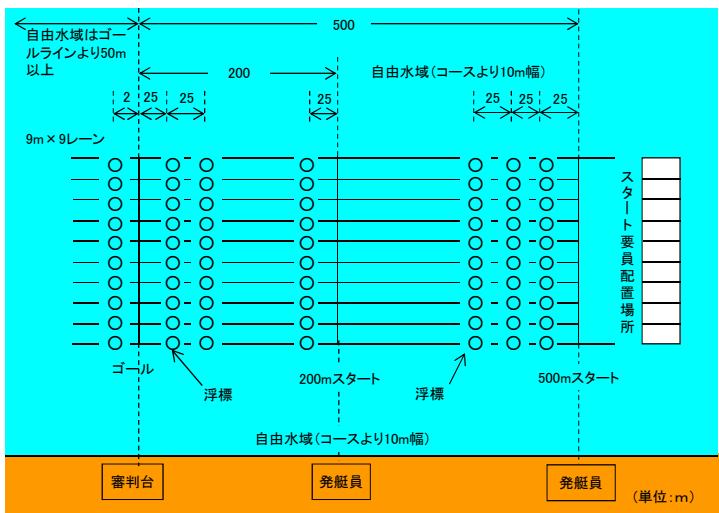
(3)カヌーワイルドウォーター

- カヌーワイルドウォーターコースは全般にわたり漕行可能な急流とし、公益社団法人日本カヌー連盟の公認したもので1500mを基準とする。スプリント種目はカヌースラロームコースを利用する。
- カヌーワイルドウォーターの発艇・決勝に公益社団法人日本カヌー連盟が公認した電子判定システム(光電管・ビデオシステム等)を設置すること。
- 全使用艇・用具を収納する艇庫を設置する。
- 水路及び施設は、国体終了後も使用できるものが望ましい。

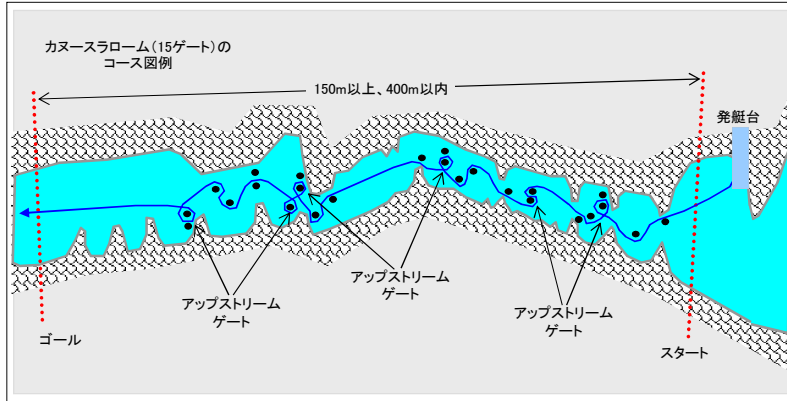
〔(公社)日本カヌー連盟「カヌー競技規則」「国民体育大会特別規則」から抜粋〕

基準の主な内容

(1)カヌースプリント



(2)カヌースラローム



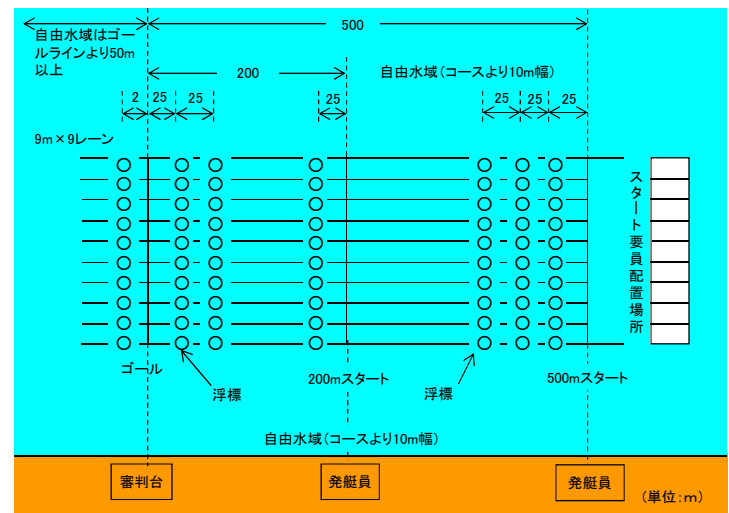
(3)カヌーワイルドウォーター  
○スラローム会場との共有が可能である。

(配慮すべき事項)  
○コースの設定では、環境面に配慮することやゲートなどのコース器具の設置ができること。

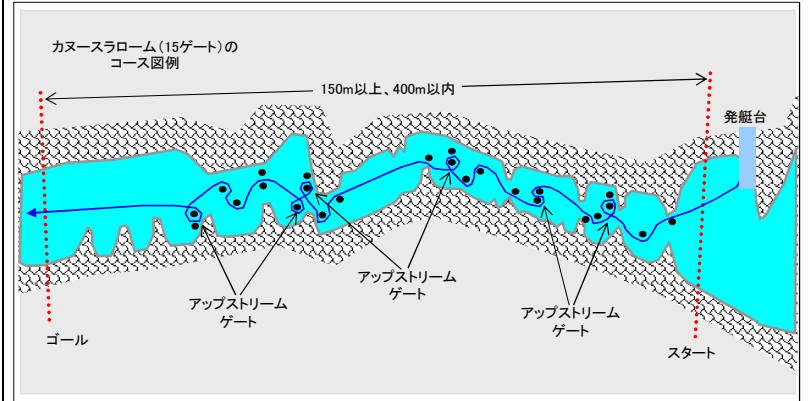
(先催県の事例)

基準の主な内容

(1)カヌースプリント



(2)カヌースラローム



(3)カヌーワイルドウォーター  
○スラローム会場との共有が可能である。

(配慮すべき事項)  
○コースの設定では、環境面に配慮することやゲートなどのコース器具の設置ができること。  
○カヌースラロームおよびカヌーワイルドウォーターにおいては、救助用具を準備する等、安全対策を行うこと。

(先催県の事例)

## 第24回全国障害者スポーツ大会オープン競技実施競技名変更（案）

実施競技名		主管団体名	市町名	開催予定施設
(変更前)	(変更後)			
知的障害者 バドミントン	SO バドミントン	特定非営利活動法人 スペシャルオリンピックス 日本・滋賀	彦根市	彦根市スポーツ・ 文化交流センター

（理由）

SO（Special Olympicsの略称）の特徴、独自性のあるバドミントン競技であることを示すため。